

倫理（3年） 指導と評価の年間計画

科目	指導学年	学科・コース	単位数	使用教科書（出版社）	使用副教材（出版社）	年間時間数
倫理	3	普通科	2	高等学校改訂版倫理(第一学習社)	最新倫理資料集（第一学習社）	70

科目の目標 (学習指導要領)	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、社会と人間についての理解を深めさせ、人生の諸問題について、主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方、生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取り組み	・本授業は、センター試験を「倫理政経」で受験する生徒にとっては新たな学習内容であるが、「現代社会」で受験する大半の生徒にとっては、現社の「青年期の課題」の補完となる。「面接・小論文」で受験する生徒にとっては、ネタを収集する貴重な時間となる。従って、生徒のニーズを考え、時事問題や、調べ学習、コラムの速写などを適宜挟み込みながら、教科書で学ぶ事項と現代の社会とのつながりを常に意識させていきたいと考えている。

月	単元名	学習項目	予定時間数	具体的な学習内容と評価のポイント	評価法
4	倫理を学ぶ意義 第1章 青年期の課題 と自己形成	1 よく生きることを求めて 2 青年期の課題	5	・倫理を学ぶ意味と、受験科目としての倫理について理解する。 ・青年期が人生の中でどんな位置にあるのか、青年期に共通してみられる心理にはどんなものがあるか、青年期の自己形成の課題は何かについて理解する。	・行動観察
5	第2章 人間としての自覚	3 自己の探求 4 現代の青年期 1 ギリシャ思想	8	・ギリシャ思想や、古代イスラエル人によるユダヤ教、ユダヤ教から生まれたキリスト教、インドに生まれた仏教、中国の諸子百家を代表する儒教等の思想を学びながら、これらの思想が示す「人間の自覚」のさまざまな姿に触れ、徹視的には宗教の人生における価値、巨視的には現代社会にこれら宗教がいかに関与しているかについて理解する。	・行動観察 ・調べ学習・速写の提出 ・ノート提出
6		前期中間考査	1		
		2 キリスト教 3 イスラム教 4 仏教	6		・行動観察 ・調べ学習・速写の提出 ・確認テスト
7 ・ 8	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	5 中国の思想 1 日本の風土と伝統 2 外来思想の受容	7	・国際社会に生きるためには、異なる民族や異なる文化を持った人々との相互理解が不可欠である。そのために、日本人のものの考え方やその特質がどのように形成されてきたのか、世界に貢献できる日本の伝統は何かについて正しく理解する。	・行動観察 ・調べ学習・速写の提出 ・ノート提出
9		3 町人意識の目覚めと庶民思想 4 西洋思想との出会い	6		
		前期末考査	1		
10 11	第4章 現代に生きる人間の倫理	1 現代の特質と倫理的課題 2 人間の尊厳 3 近代の科学革命と自然観 4 自由で平等な社会の実現 5 人間性の回復と主体性の確立 6 現代の思想と人間像 7 生命への畏敬と社会奉仕	14	・近代以降の西洋社会ではぐくまれた自然観や人間観を学び、近代西洋社会の特質である人間の尊厳、科学の発展とその結果である自由と平等について理解する。しかし一方で理性中心の人間観や機械論的自然観についての反省も生じていることを理解する。	・行動観察 ・調べ学習・速写の提出
		後期中間考査	1		
12	第5章 現代の諸課題と倫理（選択）	2 環境倫理と課題 3 情報社会と課題 5 異文化理解と課題	7	・これらの課題を自己の課題と結びつけ、主体的に追求し、問題の解決に向けて積極的に取り組む姿勢をつくる。	・行動観察 ・調べ学習・速写の提出
1		演習	6		・行動観察
2 3		レポートの作成	7		・レポート提出 ・発表の評価

計 70時間

単元指導計画

単元名 現代の諸課題と倫理

単元の目標 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。

単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<p>①現代の諸事象における倫理的諸課題に対する関心が高まっている。</p> <p>②現代の倫理的諸課題を自己の課題とつなげて意欲的に探究している。</p> <p>③現代に生きる人間としての在り方生き方について他者と共に生きるという視点から考え、倫理的諸課題に積極的に取り組んで生きようとしている。</p>	<p>①現代の諸事象について、倫理的視点から課題を見いだしている。</p> <p>②現代の倫理的諸課題を論述したり討論したりするなどの活動を通して、自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し探究して、その過程や結果をノートやワークシートに適切に表現している。</p> <p>③現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について、主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を、筋道を立てて適切に表現している。</p>	<p>①現代の倫理的諸課題のうちから選択して取り上げた課題に関する資料や先哲などの考え方や生き方に関する資料を書籍やインターネットなど様々なメディアを通して収集している。</p> <p>②収集した資料の中から、現代の倫理的諸課題を自己の課題とつなげて探究する学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。</p>	<p>①現代に生きる人間としての在り方生き方に関わる諸課題を自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。</p>

次 程	学習活動	評価の観点				評価規準等
		関	思	技	知	
第 一 次 （ 2 間 時	1 生命倫理と課題					
	<p>【ねらい】 生命倫理上の課題を自己の課題として認識し、多面的・多角的に考察させる。 【MQ】 医療技術の発展がもたらした新たな課題から、自分の生き方・在り方を考えよう。</p> <p>○医療技術の進歩がもたらした新たな課題として、終末医療に関する基本的な事柄を理解する。 ○終末期の医療について多面的・多角的に検討・考察する。 ○グループ学習を通して自分の意見をまとめる。</p>	○			●	<p>①関心を持って課題に取り組む。 ①自らの問題として理解し、人格形成に生かす知識として身につけている。 ①様々なメディアを通して、課題解決に必要な情報を収集し、適切に取捨選択できる。 ②多面的・多角的な視点から考察し、その過程や結果を自分の言葉で適切に表現している。</p>
第 二 次 （ 2 間 時	2 家族・地域社会と課題					
	<p>【ねらい】 家族の形態の変化やその課題を把握し、主体的に考察させる。 【MQ】 家族の在り方や課題について考え、自分の生き方・在り方を考えよう。</p> <p>○変容する家族の在り方や福祉の課題について理解する。 ○課題に沿ったテーマを設定し、各自で調べまとめる。</p>	○			●	<p>②課題について意欲的に追及している。 ②課題解決のために必要な情報を選択し、自己の課題とつなげて活用できる。 ①身近な事象について倫理的観点から課題を見出すことができる。</p>
第 三 次 （ 3 間 時	3 異文化の理解と課題					
	<p>【ねらい】 地域社会への理解を通し、グローバル化する社会の課題について主体的に考察させる。 【MQ】 自分の住む地域の魅力を外国人に効果的に伝えるために必要なことを考えよう。</p> <p>○グローバル化する社会が抱える課題を理解する。 ○美濃市を外国人に紹介するパンフレットをつくる。</p>	●			○	<p>①自らの課題として理解し、自分の在り方生き方に関わる知識として身につけている。 ③外国人の視点から地域や情報を捉え、課題に取り組むことができる。 ②課題について主体的に情報収集し、自らの課題としてとらえられる。 ③様々なメディアから収集した情報を取捨選択し、筋道を立てて適切に表現できる。</p>

学習指導案

日時	平成〇年〇月〇日 (〇) 第〇限	クラス	3年〇組 (男子〇名、女子〇名)	指導者	〇〇 〇〇
教科 (科目)	公民科 (倫理)	単元名	第5章 現代の諸課題と倫理	1	生命倫理と課題
教科書	『高等学校改訂版倫理』 (第一学習社)	副教材	『改訂版倫理ノート』 (第一学習社) 『テオリア最新倫理資料集初訂版』 (第一学習社)		
本時主題	生命倫理と課題				
本時の目標	終末期医療が抱える課題について、多面的・多角的に考察し、自分の意見を論理的に表現することができる。				
評価規準	①生命倫理上の課題について、多面的・多角的に考察し、広い視野に立って主体的かつ公正に判断し、適切に表現することができる。【思考・判断・表現】 ②課題を自己の課題として理解し、これからの生き方に生かす知識として身に付けている。【知識・理解】				

指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・観点別評価
導入	○調べ学習のワークシートをもってグループにわかれる。 発問① 立場によって、告知・延命治療に対する意見はどのように異なるだろうか。 【グループ学習】 ○一人あたり持ち時間 30 秒で、それぞれの立場からの意見を発表する。	・調べ学習のグループを解体し、役割が偏らないようにする ・立場による意見の相違を全体で共有するため意見交流を行う ・ワークシート①に記入させる
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 《本時の課題》 治る見込みのない病気に苦しむ患者に対する望ましい治療とは何だろうか。 </div> 発問② 自分がこの患者の家族なら、延命治療か緩和ケアか、どちらの治療を選択するか。資料の続きを考えよう。 ○資料を読み、自分ならどんな選択をするか考える。 ○それぞれの選択について、メリット・デメリットを各自で付箋に記入する。	・ワークシート②、資料配布 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【資料】 『マンガで学ぶ生命倫理』よりガンによる余命宣告を受けた祖父が治療の苦しみに耐えかね、「楽にしてほしい」という意図の発言をする。医師より緩和ケアという選択肢もあるという説明を受け、家族が選択に悩む場面。 </div> ○付箋は 1 人各色 2 枚ずつ配布し、それ以上書ける場合は枚数を増やすように指示する。
多面的・多角的な視点の獲得	【グループ学習】 ○それぞれが記入した付箋を、意見交流しながらワークシート②に貼っていく。 ○延命治療と緩和ケアのどちらに賛成か、グループとして意見をまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【評価方法】 自分の意見を付箋に表現して、それらをグループでまとめることができる。【思考・判断・表現】 </div>
適切な表現方法の検討	○選択した治療方針について、メリット・デメリットを含めて祖父 (患者) にどのように説明するか考え、ワークシート②に記入する。 ○グループごとの立場と患者に対する説明を代表が発表、交流する。	○グループの意見を考察させる際、これは正解を導き出すものでないことに留意させる。
個人の価値観の表現	発問③ 治る見込みのない病気に苦しむ患者を「楽にする」ことに賛成か反対か、自分の考えを 600 字で説明してみよう。 ○自分の意見をワークシート①に記入する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【評価方法】 課題を自己の生き方に照らして考えることができる。【知識・理解】 自分の言葉で適切に表現し、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 </div>
まとめ	発問④ 《本時のまとめ》 自分が治る見込みのない病気にかかってしまったら、どのような治療を望むか考えてみよう。 ○ワークシートに各自で本時のまとめを記入する。 ○グループ・隣同士で交流する。	
他者理解・自己の価値観の振り返り		

グループ

メンバー

【活動②】 自分が家族なら、延命治療か緩和ケアか、どちらの治療を選択するか。
資料の続きを考えよう。

家族としては

を選択する。

それぞれ自分の意見を付箋に書き、発表しながら交流しよう。 ※付箋の右下に記名すること。 ※青：メリット 赤：デメリット

この選択のメリットは…

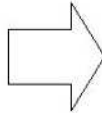
この治療のデメリットは…

【活動③】 グループとしての結論を、どのように祖父（患者）に伝えるか考えよう。

家族としては

を選択する。

その理由は



祖父には

(前時) 調べ学習用ワークシート

3年生倫理 ワークシート (個人用)

3年 組 番 氏名 _____

私の立場は

今日のテーマ

個人用

【活動①】 考える上で必要な事柄について調べよう。

インフォームド・コンセント

安楽死

尊厳死

緩和ケア

その他、気になったことがあったら調べておこう。

【活動④】 グループとしてまとめた告知に対する考えを書きこもう。

としては
告知を



その理由は、

グループ用

3年倫理 グループ活動ワークシート

立場

メンバー

【活動②】 自分が なら、告知をしてほしいと思うか（するか）思わないか（しないか）。
グループで考えてみよう。

	としては	
告知を	してほしい（する）	してほしくない（しない）

それぞれ自分の意見を付箋に書き、発表しながら交流しよう。 ※付箋の右下に記名すること。 ※青：メリット 黄色：デメリット

この選択のメリットは…

この治療のデメリットは…

【活動③】 グループとして、告知や延命治療に対する考えをまとめよう。

としては、告知を	→	その理由は、
----------	---	--------

授業の事後分析

1. 授業者による分析

□「言語活動の充実」について

- ・自分の意見を付箋に書くことで、普段は意見を発言することが少ない生徒にも、活躍する場を与えることができた。
- ・発表時間を指定することで、生徒全員が発言する時間を確保することができた。
- ・自分の意見の表明に小論文の形式をとったが、取り組む時間をもう少し確保することができれば、より考えが深めることができたかもしれない。

□「多面的・多角的な考察」「自己の課題としての理解」について

- ・グループ学習の結果、すべてのグループが緩和ケアを選択し、全体での交流が深められなかった。立場を指定したり、場面をより限定するなどして、複数の視点から考えられるような展開を考えてもよかった。
- ・600字という字数が多く、じっくりと考えていない、一般的な意見を書く作業になってしまっていたかもしれない。記述する字数を減らすなどして考える時間を確保し、より自分自身の課題として認識できるような場面にする必要があった。

□その他 反省点

- ・メリット・デメリットを考察させる際、視点の設定がうまくできていなかった。それぞれの選択肢ごとにメリット・デメリットを考えさせたほうがよかったかもしれない。
- ・延命治療と緩和ケアが二律背反の選択であるかのようにってしまった。事後のフォローが必要であった。

2. 参観者による講評

□「言語活動の充実」について

- ・付箋を利用したグループ交流はうまくいっていた。グループでの交流も活発に行われていた。
- ・「死」という重いテーマを扱っているのに、すらすらと自分の考えを表現できていた。思考よりも作業になってしまっていたかもしれない。字数を少なくするなど、思考できる工夫が必要である。
- ・思考する際、概念を利用できていなかった。日頃から概念を使って思考できる指導をしていくべきである。

□「多面的・多角的な考察」「自己の課題としての理解」について

- ・治療の選択において、立場の違いによって結論が変わることを話し合えていたが、それが全体で交流できておらず残念であった。
- ・発問③が授業の中で浮いており、思考の流れが切れてしまう。発問③か発問④か、どちらかに絞って考えさせた方がよかったかもしれない。

□その他

- ・家庭科、保健体育など他教科との違いを明確にするべきである。
- ・倫理的な思考力を育むことができるような授業展開となるよう工夫する必要がある。
- ・グループでの活動と個での活動が切り替えられるよう、席を戻すなどの工夫があってもよかった。
- ・ワークシート主体で板書の活用がなかった。板書も取り入れてもいいのではないかと。

生徒のノート・グループ学習のワークシートより

【発問②】

自分が家族なら、延命治療か緩和ケアか、どちらの治療を選択するか。資料の続きを考えよう。

治療のメリットとデメリットを考え、グループとして意見をまとめよう。 →評価方法【思・判・表】

班	選択した治療	治療のメリット	治療のデメリット
1	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・(患者が)自分の満足した死に方を迎えることができる。▲ ・患者が生きる気力を取り戻す可能性がある。▲ ・治療中の辛い姿を見ずに笑顔を見ることができる。● 	<ul style="list-style-type: none"> ・残される家族の心構えができない。● ・死期を早める。◆ ・完全に苦痛を取ることはできず、患者は苦しい。▲ ・痛みがなくても<u>病気が治るわけではない</u>。◆
2	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思を尊重できる。●▲ ・家族も辛い様子を見ずに済むので、患者との時間をよりよく過ごせる。● 	<ul style="list-style-type: none"> ・長くは生きられないかもしれない。◆ ・<u>もしかしたら治るかもしれないけれど、それをあきらめることになる</u>。◇ ・死への覚悟を早く持つ必要がある。●▲
3	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・延命治療を拒否することで、<u>近年増加してきている医療費を抑えることができ</u>、家族に負担がかからない。●◆ ・患者が、残された時間を自分と家族のために使える。▲ ・患者と家族が病気や死に対してゆっくり向き合える。●▲ 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族は患者の死に対する不安を募らせることになる。● ・延命を拒否して患者が死ぬことは医療の敗北になるので医者の立場からしたら延命をさせたい。■ ・死期が早まる。◆
4	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的に痛みなどから解放されると明るくなる。▲ ・家族への<u>介護やお金の負担を軽く</u>することができる。◆● ・治らないのに、辛い治療をしなくてもいい。●▲ ・治る見込みがないなら、残りの寿命を苦しむより苦痛がなく生きられる方がいい。▲ 	<ul style="list-style-type: none"> ・早く死んでしまう。◆ ・病気が進行していく辛さが残る。▲● ・死ぬまでの<u>介護が必要</u>である。● ・自分の体がどんどん不自由になる。▲ ・家族のことを考えると1日でも長く生きようと思う気持ちが強くなる。▲ ・<u>いつ死ぬのか分からなくなるから余計辛くなる</u>。▲
5	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・患者への負担が少ない。●◆ ・患者が思うように残りの人生を送ることが可能。▲ ・身体的な苦痛がなくなる。◆▲ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の状態によって生活に制限があるかもしれない。◆ ・思い残したことがあっても<u>それを達成できない</u>。◇ ・長く生きられなくなる。◆
6	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・苦しみを緩和しながら残りの人生を過ごした方が楽しく生きられる。▲ ・自分の死と向き合える。▲ ・家族の負担が減り、患者の意思を尊重できる。●▲ ・精神的にも身体的にも楽。▲ 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が延命治療を望んでいるならその意志とは逆になる。▲ ・寿命は長くない。◆ ・突然死するかもしれない。◆ ・治療をした方が長く生きられる。◆

●家族の視点からの意見

▲患者の視点からの意見

■その他の視点からの意見

◆客観的な事実

◇事実の誤認

授業者の考察

各グループ内で、複数の視点から意見が述べられていたが、患者か家族の感情的な部分に限定されたものが多く、客観的な事実や社会的な事情に言及できていないグループもあった。全体交流の時間を多くとり、出された意見を板書するなどして、さらに多面的・多角的な視点に気づくことができるような展開を考えていく必要がある。

【発問③】

治る見込みのない病気に苦しむ患者を「楽にする」ことに賛成か反対か、自分の考えを説明してみよう。

→評価方法【知・理】

賛成の立場からの記述（抜粋）

- ・ 人間が自然の摂理に抵抗し、治る見込みのない患者に手を施すと患者にとっても家族にとっても辛い治療になってしまう。だから、自然のまま死なせることが患者にとって最善の策である。▲
- ・ 治る見込みのない病気にかかってしまった場合、良くなることはなく日々苦しくなるばかりです。そんな状況に陥ってしまったらきっと私は絶望することしかできません。毎日病院のベッドに寝かされて管をたくさん体につないで生きる事は、生きるというよりも生かされているとしか思えません。そのような治療をする限り、家族にも負担をかけたり不安にさせてしまうので、したくないなと思います。●

反対の立場からの記述（抜粋）

- ・ 安楽死は、自分も家族も負担を軽くすることはできるけれど、死んでしまうという悲しみは大きくなるし、医者も、「自分が殺してしまった」という罪悪感ができるからです。（中略）安楽死は私の中では精一杯最後まで生きたということを感じません。また、家族側としても、楽になってほしいけれど、死んではほしくありません。◎
- ・ 治る見込みがないといっても、「楽にする」ということは、諦めることで、選択した人には少なからず後悔が残ると思います。苦しくても延命治療をして最大限寿命を延ばしたり、緩和ケアによって、少ない時間でも病気を忘れるくらい楽しく生きるという方法もとれると思います。●

評価規準

◎多面的・多角的な視点から考察し、自分の生き方に照らして考えることができているもの。

●課題を自分の生き方に照らして考えることができているが、多面的・多角的な視点が不十分であるもの。

▲課題を自己の課題として捉えているとはいえないもの。

授業者の考察

600字を書ききるということに意識が向き、一般的な意見に終始してしまうものが多かった。字数を少なくしたり、時間をより多く配分したりすることでじっくりと考え、自分の生き方に照らして考えられるような展開にしていく必要があった。

【発問④】

自分が治る見込みのない病気にかかってしまったら、どのような治療を望むか考えてみよう。

→評価方法【思・判・表】

生徒の記述（抜粋）

- ・ 自分なら緩和ケアを望む。治る見込みのない病気ならば苦しみたくない。だけど死ぬ覚悟はすぐできないから安楽死は怖い。
- ・ 自分なら延命治療を望む。まだ若いし抵抗力があるから苦しくてもつらくても耐えられると思うから。
- ・ 自分なら楽にしてもらいたい。楽にもらって、臓器を提供する。

授業者の考察

家族が病気になった場合、自分が病気になった場合、一般的な考え方、それぞれで生徒の考えがゆれ動いていた。自分の中でも、立場ごと、状況ごとでとらえ方が異なることに気づけたのではないかとと思われる。その揺れをより感じられるようなワークシート等を考えられるとよかったかもしれない。

評価問題例

次の新聞記事（アメリカの女性が予告通り安楽死した記事（平成26年11月4日付け朝日新聞））を読んで問いに答えなさい。

現在日本では、安楽死は法的に認められておらず、専門家の中でも意見が分かれている問題である。

- (1) 賛成派はどのような理由から賛成していると考えられるだろうか。記事を参考に、100字以内で述べなさい。
- (2) 反対派はどのような理由から反対していると考えられるだろうか。記事を参考に、100字以内で述べなさい。